

■デジタル田園都市国家構想交付金事業（地方創生タイプ）令和5年度実績
及び紀北町地方創生会議委員の意見

■デジタル田園都市国家構想交付金事業（地方創生タイプ） 令和５年度実績、KPI 達成状況及び紀北町地方創生会議委員の意見

【連携事業分】

No.	事業名	実績額 (円)	事業概要	K P I (重要業績評価指標)	目標 年月	実 績	達成 状況	今後の 取組方針	紀北町地方創生 会議委員の意見
1	持続可能な 地域を育む 人材育成事業 連携： 5市町 (尾鷲市、熊 野市、御浜 町、紀宝町、 紀北町) 所管： 企画課	64,960 (交付金充当 額) 32,480	東紀州地域の産業と伝統文化への 理解を深め、地元を愛する人材を 育成するため、東紀州 5 市町が一 体となって、子どもをはじめとす る様々な年代の人々に学びや体験 の機会を提供する取り組みを行い ます。 本事業では、官民協働で、子どもか ら大人まで幅広い年齢層が地元産 業や文化を体験できる機会を創出 し、地域への愛着を深めることを 目指します。また、地場産業の強化 と情報発信を通じて、若者の定住 促進と移住促進を図ることで、地 元を愛し、地元根付く人材の育 成に取り組めます。 ①働く世代に向けての移住・定住・ 交流促進事業	KPI① 東紀州地域内の高等学校等卒業 後の地元就業率 ・現状値 (R4) 6.70% ⇒ R5 目標値 7.20% R6 目標値 7.75% R7 目標値 8.35% KPI② 移住に係る行政窓口を活用した 東紀州地域への移住者数(累計) ・現状値 (R4) 235 人 ⇒ R5 目標値 308 人 (単年度 73 人) R6 目標値 389 人 (単年度 81 人) R7 目標値 475 人 (単年度 86 人) KPI③ 第 1 次産業をはじめとする地元 の産業及び伝統文化等の体験学 習回数(累計) ・現状値 (R4) 125 回 ⇒ R5 目標値 244 回 (単年度 119 回) R6 目標値 369 回 (単年度 125 回) R7 目標値 499 回 (単年度 130 回)	R8.3	【実施内容】 〈ソフト事業〉 ①地域の魅力の情報発信事業 65 千 円 (1)働く世代に向けての移住・定住・ 交流促進事業 ・移住定住資料通信運搬費 【R5 KPI 実績】 ・KPI① <u>9.80% (○)</u> <u>(R4 実績 6.70%)</u> ・KPI② <u>389 人 (○)</u> <u>【単年度実績 154 人】</u> <u>(R4 実績 235 人)</u> ・KPI③ <u>235 回 (×)</u> <u>【単年度実績 110 回】</u> <u>(R4 実績 125 回)</u>	△	市町連携により、 移住希望者のニー ズに応じた移住ウ ェブセミナーを充 実させ、地域の魅 力に関する情報発 信を行っていきま す。また、地域医 療研修センターを 含めた地元での就 労体験について も、移住希望者の ニーズを取り入れ ながら強化してい きます。	人口減少が進む 中、地域に残る 人々がより豊か に暮らせるよう になることが重 要であり、若い 世代の結婚・子 育て機会確保や 定住促進が不可 欠だと思いま す。 地方創生事業を 進めるにあた り、計画だけで なく、それぞ れの地区の事情を より詳細に考慮 する必要があります。 地元企業の高校 新卒採用が増加 することが、若 者の地元定着の 一助となる可能 性があります。

【連携事業分】

No.	事業名	実績額 (円)	事業概要	K P I (重要業績評価指標)	目標 年月	実 績	達成 状況	今後の 取組方針	紀北町地方創生 会議委員の意見
2	観光DXで かがやく、観 光地域づく り事業 連携： 県・5市町 (三重県、尾 鷲市、熊野 市、御浜町、 紀宝町、紀北 町) 実施主体： (一社)東紀 州地域振興 公社 所管： 商工観光課、 企画課	1,000,000 (交付金充当 額) 500,000	ポストコロナにおいて多様化する 旅行者のニーズを満たすため、東 紀州地域振興公社が中心となり、 「観光DXを活用した新たな観光の カタチづくり事業」と「持続的なヒ トづくりに向けた観光ガイド整備 事業」を一体的に実施します。これ により、担い手の育成、消費額の拡 大、観光資源の魅力向上、持続可能 な観光地域マーケティングを目指 し、地域全体の観光振興を図りま す。 ①ポストコロナにおける観光DX を活用した新たな観光のカタチづ くり事業 ②持続的なヒトづくりに向けた観 光ガイド整備事業	KPI① 東紀州地域における観光消費額 ・現状値(R4) 12,789 百万円 ⇒ R5 目標値(増加分) 1,311 百万円 R6 目標値(増加分) 700 百万円 R7 目標値(増加分) 700 百万円 KPI② 観光コンテンツアクセス回数 ・現状値(R4) 0 回 ⇒ R5 目標値(増加分) 200 回 R6 目標値(増加分) 1,200 回 R7 目標値(増加分) 1,200 回 KPI③ デジタルマーケティング参画事 業者による業務改善数 ・現状値(R4) 0 回 ⇒ R5 目標値(増加分) 0 回 R6 目標値(増加分) 5 回 R7 目標値(増加分) 10 回 KPI④ システム参入宿泊施設数 ・現状値(R4) 0 施設 ⇒ R5 目標値(増加分) 0 施設 R6 目標値(増加分) 20 施設 R7 目標値(増加分) 4 施設	R8.3	【実施内容】 ①ポストコロナにおける観光DXを 活用した新たな観光のカタチづくり 事業 (1) 東紀州映像・音声ガイド整備 事業 5,000 千円 ②持続的なヒトづくりに向けた観光 ガイド整備事業 (2) 東紀州地域観光ガイド整備 事業 1,000 千円 事業費合計額 6,000 千円 ※5 市町+県 各自治体の負担金実 績(総事業費÷6) 1,000 千円 【K P I 実績】 KPI① <u>増加分 2,712 百万円(○)</u> (R4 実績 14,564 百万円 ⇒R5 実績 17,276 百万円) KPI② <u>増加分 168 回(×)</u> (R4 実績 0 回⇒R5 実績 168 回) KPI③ <u>増加分 0 回(○)</u> (R4 実績 0 回⇒R5 実績 0 回) KPI④ <u>増加分 0 施設(○)</u> (R4 実績 0 施設⇒R5 実績 0 施設)	△	令和5年度で確立 した仕組みや収集 したデータを基 に、磨き上げと横 展開を図るととも に、新たにデジタ ル技術を活用した エリアマーケティ ングに取り組みま す。また、持続的な 人材育成プログラ ムを活用し、イン バウンド対応型ガ イドの育成に取り 組めます。施策の 横展開及びエリア マーケティングを 通じて、さらなる 集客及び消費額拡 大につなげるとと もに、インバウン ド対応強化による インバウンド客と 担い手の確保につ なげていきたいと 考えます。	デジタル技術の 活用は人口減少 をチャンスとと らえ、行政手続き や生活を効率化 し、新たな可能性 を生む上で重要 だと考えられる。